

磐田市空手道連盟

加盟チーム数 3チーム
加盟人数 120名
会 長 前島 教次
創立年 平成4年4月

組織

社団法人日本空手協会磐田支部
和道会修空会
ヤマハ発動機空手部の3団体で構成

役員

会 長 前島教次
副会長 小林孝一
理事長 密岡恭之
副理事長 鈴木堅司・大庭信博
事務局長 永見基全
理 事 木村浩一・岩本一輝
寺田正子・高橋征史
山田忠明

昭和34年9月 見付地脇町の宣光寺御住職の空手道に対する温かいご理解とご協力により、初めて磐田市に道場を開設。

道場とは言え、寺院境内の一隅を借用し裸電球の下練習を開始、これが磐田支部発祥の基となる。(磐田支部の母団体 日本空手協会は唯一文部科学省正式認可の公益法人)

この年の11月磐田市教育委員会・中日新聞社の協賛を得て磐田市公会堂において、この年東海地方を襲った伊勢湾台風の災害救助募金を兼ねた第1回演武会を開催したのである。当日来賓でご出席頂いた当時の教育長が大変感激され、早速体育協会加入のご努力をいただき、磐田市体育協会に加盟を承認された。

平成4年4月 かねてより親交のあった和道会に呼びかけ、(社)日本空手協会・和道会の2流派5団体に新に磐田市空手道連盟を発足。各道場合同の技術向上の合同練習及び演武会や大会等を行い錬成に努めている。

平成6年10月 県民スポーツ祭では磐田市で空手の大会が催され運営等を担当する。

平成7年10月 「市民体育のつどい」では日本・ブラジル修好100周年記念スポーツ交流大会演武会が行われ、ブラジル人の選手も交えて試し割りや型を披露。

平成18年まで磐田市代表として毎年県民スポーツ祭に参加。(この年をもって県スポは終了)



空手協会磐田支部の指導員と道場生



和道会修空会支部の指導員と道場生

活動状況

平成18年まで開催されていた県民スポーツ祭には、磐田市代表として多数の選手が参加していた。

年1回の合同練習及び演武会を開催。

また、各流派ごとの大会に於いては精進と努力を重ね、その成果は県大会は勿論、東海大会においても度重なる優勝を遂げ、全国大会においては3年連続優勝という輝かしい実績を残している。

優秀選手の紹介

小田俊也選手

和道会全国大会 優勝

静岡県少年少女空手道選手権 優勝

石川恭平選手

和道会全国大会 準優勝

和道会静岡県大会 準優勝

石川泰市

和道会全国大会 第3位

静岡県少年少女空手道選手権 優勝

磯部加奈子

和道会静岡県大会 優勝

静岡県中学1・2年空手道大会 準優勝



空手協会磐田支部、和道会修空会、ヤマハ発動機空手部の合同練習



少年による組手



日本・ブラジル修好100周年記念でのブラジル選手による型の演武